

特定非営利活動法人さすが一の宮 平成21年度通常総会 議事録

日時 平成21年4月26日(日) 2時 ~ 3時45分

ところ 一宮町中央公民館 2F 生活研修室

会員数55名のうち参加人数22名 委任状16名 につき総会成立。

司会	坂野勝英 副理事
開会のことば	室川正治 副理事
理事長挨拶	志田延子 理事長
議長選出	大柿恵司 理事
議事録署名人選出	堀内正範氏 藤野国彦氏
書記	事務局 押垂智恵子

【議題】

平成20年度事業報告 (事務局 佐々木初太郎)

平成20年度収支報告 / さすが一市収支報告 (事務局 佐々木初太郎)

議長：事業報告および収支報告に関して疑問・質問がありましたらお願いいたします。

質問：板倉正氏

さすが一市の参加費について。売れる店と売れない店があると思うが、参加費に見合った売り上げのない店に対してなんらかの手当ては必要でないのか？ 自分が聞いたところでは竹細工の店は売り上げが好調で、商品を取りに行ったり、茶道具の要望もあり盛況だったが、各店についての把握はどうするのか？

答え：室川副理事

売り上げについては全般に良い。たとえば江戸指物は、商品は売らないが自分の技を見せる場として参加している。売り上げについての苦情はない。各店の把握についてはアンケートをとる予定でいる。

議長：さすが一市は「さすが一」と思ったり意外な驚きを発見して、来た人が楽しんでさらに人を呼んで成長してゆくような市を心がけているので、売れない店は魅力がない、さすが一市の方針とは違っていると判断して入れ替えて、いっそう魅力的な市にしてゆかなければならないと思う。

質問：板倉正氏

さすが一市の「さすが一」というのは誰がどういう考えでつけたのか教えてほしいのと、参道のかね吉の出店がないのは前が空いていてさみしいが、どうして出店しないのか？

答え：坂野副理事

ある人に聞いたところ、さすが一市には賛成しているが反面さすが一市の時は参道に車が入れなくて予約をとれず普段の時とプラスマイナスが相殺である。店舗以外の駐車場の使用については主人が了解してくれて、これから検討するという答えをもらっている。

議長：「さすが一」についてはNPOの名前を考えると、上総一宮の「かずさ」をひっくりかえして流石(さすが一)に掛けた。町の人からも外の人からも見直される活動をしてゆくという心構えがある。

監査報告（監事 中村好夫）

- 承認 -

平成21年度事業計画案（事務局 佐々木初太郎）

平成21年度予算案（事務局 佐々木初太郎）

議長：事業計画および予算案に関してご質問がありましたらお願いいたします。

質問：堀内正範氏

秋のさすぎ市について。春のさすぎ市は玉前神社の祭礼と関連があるが、20年の秋のさすぎ市は独立していて関連がなかった。今年もそうなるのかお聞きしたい。

答え：志田理事長

最初の第1回さすぎ市は4月13日の玉前神社の祭礼がさみしかったのでその日に合わせたが、今年は12日の宵宮に湯たて神事やいろいろな行事を合わせてきて賑やかになった。相乗効果が出たと思う。あえて神社に合わせなくとも祭礼の間の行事として町の活性化につながればよいと考えている。今年は10月25日に開催してはどうかと思っている。

質問：堀内正範氏

本来門前市は神社との関係があって生まれたものなので玉前神社との関係は密度を持ってほしい。同時に神社の境内で出店している方々との商売上の関係はどうなっているのか？

答え：志田理事長

テキヤとは競合しない物を出店している。われわれは参道で、道路使用許可をとってやっているのだから基本的には境内のテキヤとは対立しない。秋の第2回ではテキヤの方からさすぎ市に合わせて神社に交渉して境内に出店してきたという状況である。

堀内：いずれにせよ玉前神社があつてのさすぎ市なので玉前さんとの関係は大切にしておくのが良いと思う。外から来る人には参道以外の周辺の商店(商工会・商店街)がなんらかの形で参加しておくのが将来的に大事ではないかと思う。すぐにはいかならないと思うが今後も指向してほしい。

旧社務所の再建場所について。最初から参加して経緯は知っている。町興しのためにどこに再建するのが良いかいろいろ検討した。老女子の森も候補地であったが、さすぎ一の宮の広報では予定地となっていた。予定地というのは言い過ぎではないのか。ある人から候補地であっても予定地ではないと反発をこめて言われたことがある。

答え：佐々木

老女子の森は町と県の公有地なので、予定地というのはあくまでも願望で候補地である。情報が一人歩きしてしまったことをお詫びする。今はまだ調査段階である。

堀内：マイナスの要因になるので予定地というのはやめた方がよい。どこに建てるかという点では玉前神社からも観明寺からも山道を辿ってゆけるので、最良であると思うが、決定するまでのプロセスが大事なので、町の人に広報するときは注意してほしい。

議長：さすぎ市の秋の回について。独自に開催して力をつけておくのも必要だが年に何回も開催するのは今の人数では無理である。神社の祭礼などに合わせてさすぎ市参加者に空き店舗を利用してもらえば、空き店舗の活用と商店街の活性化につながるのではないか。将来的には観光客も呼べるように発展してゆければよい。

志田：神社からさすが市を2日間してほしいとの要望もあったが、スタッフの負担が大きいので断った。神社には1・5・10・15・20・25日の市(ショウゴク市)が境内であるのでそれを充実したほうがよいと話した。神社の傘下になって開催するようにともいわれたが、あくまでもNPOの活動としてやってゆく。

議長：NPOは宗教活動をしてはいけないので神社の活動として行うことはできない。しかし町のできないこともカバーしながら、できる範囲で活動してゆかなければならない。

志田：商店の参加については、第1回は参加がほとんどなかったが、第3回では生花店、精肉店など5店舗以上参加してくれた。観光協会の協力もお願いしている。ながい目で見てもらいたい。

室川：さすが市への商店の参加について。さすが市のコンセプトもあるので一概に一宮の商店がたくさん参加するのが良いとはいえない。なぜ人が来てくれるかということを考えれば一宮の商店だけを特別にすることは出来ない。折り合いも必要である。

議長：一宮だけで「さすが」と思われる40店舗の出店は無理なので近隣の協力は不可欠。しかし刺激を受けた方々は自分の店先でも参加してほしい。そこも散策してもらい古い建築も覗いてもらうなどして、そういう形が続いてゆけば予想外の変化もあるかもしれない。

坂野：名称が「上総国さすが市」なので一宮も大切だが、外部の参加も積極的に行うことで魅力的な市になってゆくのではないか。

質問：板倉正氏

町興しの大きな柱として祭りがある。本宮は賑やかだが宵宮はさみしい。本筋は町や商工会と一緒にあって町の中心である神社を盛り上げてゆくのが基本である。NPOは制約も多いが、町・商工会の牽引力になってほしい。

会計について。寄附を(さすが市の)事業費に入れているが、良いのか？ さすが市以外の寄附については？

答え：志田

非営利活動法人として税務上の問題もあるが、さすが市の寄附とそれ以外の寄附は区別している。

質問：堀内正範氏

広報について。新聞では各紙に前記事と後記事を写真入りで掲載してもらっているが、さすが市のことはどの程度の範囲まで知られているのか？ まだ長生郡市内ではないのか。

答え：押垂

情報紙「ぐるっと千葉」、タウン誌の「シティライフ」、九十九里の情報を扱うインターネットのサイトなどに載せてもらっている。

質問：浅生隆氏

予算案について。21年度の会費収入が20年度の会費収入より少ないのはどうしてか。

また、NPOを運営してゆくうえで人件費が必要ではないのか？

答え：押垂

20年度は設立からなので、早く入会した人は19年と20年の2度会費を払ってもらっているため20年度の会費収入が多くなっている。事務局費、スタッフ人件費については今後計上してゆく。

議長：平成21年度事業計画と予算案について承認してもらえるか、拍手をお願いいたします。

- 承認 -

その他

さすが市の方向性に関する件

「さすが」であることと同時に来た人に喜んでもらえる、たのしい市にすることを忘れない。
玉前神社との関係性をはっきりさせる。これからは事前に玉前神社と総代長に企画書を提出する。
道路看板使用についても書面をもってする。

旧社務所に関する進捗状況

建材や保存状態の問題もあり時間的余裕がない。早急に岩瀬建築に相談する。

事業の部門化に関する件

・さすぎ市 ・文化事業 ・空き店舗利用 ・旧社務所再建 など部門別にスタッフを募る。

「恋文せんべい」に関する報告

芥川龍之介ゆかりの一宮土産として現在角八本店が製品を開発中。NPOとしてどういう協力関係を持つか、近く角八本店と話し合う予定。

- 質疑応答 -

旧社務所再建について：板倉正氏

再建場所については歴史的観点から加納家ゆかりの場所が良いと思う。洞庭湖付近なども検討対象にする
とよい。一宮町にとってはゆかりの場所である。町と連携して資料館をつくってはどうか。資金については町から援助や基金はないのか？ふるさと納税というのもあるから町内に限らず手段を広めるべき。社務所に関わった人間はまだ健在なのでインターネットで発信するとよい。

志田：木造なので湿度などの点から資料館は無理である。世代交流のできるものがよいと考えている。
場所については観明寺境内の、かつて加納会館のあった場所も候補のひとつに考えている。

閉会のことば：室川副理事

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印

作成 事務局押垂